

有機化学 A (Organic Chemistry A)

担当教員名:教授 太田 俊作、准教授 山下 正行

【概要】

くすりの大部分は有機化合物である。一つの新しいくすり が創製され、生産され、人に投与され、代謝され、排泄されるまでの間、有機化学が大きく関わっている。たとえ我々の体の中で起こる反応であっても厳密に有機化学の法則に従って起こっている。したがって将来、創薬化学、薬品合成化学や天然物化学を専門にする人は勿論、分析系、生物系や医療薬学系の分野に進む人にとっても機能性分子（特別な働きをする部分を構造中にもつ分子）としてのくすりを理解するための有機化学の基礎知識は必要不可欠である。近年、有機化学は質・量共に飛躍的に変化し、膨大な知識を集積し、発展し続けている。このような中でこれから有機化学を学ぶことは一見大変なように思われるが、幸い有機化学の体系化の進歩も著しく、その基礎理論を修得すればそれほど困難とは思われない。基礎理論とは有機電子論と立体化学であるが、講義ではこれらの基本の修得に全力をあげる。

【授業の一般目標】

テキストの 1～6 章の範囲において、基本事項を理解し、聴講者自身が自分と同じレベルの人に分かりよく説明できる。

【成績評価方法・基準】定期試験(前期試験)の成績および出席の状況を主として評価する。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

- 1) 担当教室教員への対面質問は、機能分子化学研究室(南校舎 3F)の太田教授、山下准教授まで。また、WEBでの質問は授業用HP (<http://www.kyoto-phu.ac.jp/labo/kinou/06YuukiA.html>) として下さい。なお、当授業用HPには本講義の配布プリント、質問用掲示板、講義のまとめ、パワーアップ問題、過去問と解答、講義ビデオ視聴のコーナーなどがあります。
- 2) 太田教授が出張等で不在のとき、山下准教授が講義を行う。